

南相馬市博物館 企画展

国史跡指定記念

こだいむつのに なめかたのぐうけーくにしせき いずみかんがいせき

古代陸奥国 行方の郡家 国史跡 泉官衙遺跡

奈良国立博物館考古資料相互活用促進事業

平成23年 1月8日(土) ▶ 3月6日(日)



▲国史跡・泉官衙遺跡（西側から見た郡庁院跡）

かつて寺院跡として県指定史跡だった「泉廃寺跡」は、発掘調査により、税として納めた米の保管庫「正倉院」、儀式や裁判も行われた役所の中核「郡庁」、役人の屋敷や中央政府の使者の宿泊施設が並ぶ「館」などが発見され、現在の南相馬市・飯館村にほぼ相当する古代陸奥国行方郡の役所跡であることがわかりました。平成22年2月22日には国史跡に指定され、「泉にある役所跡」という意味から「泉官衙遺跡」と名称が変わりました。

今回の展示では、なぜこのような役所ができ、当時の人々はこのような生活をしてきたかを中心に、国史跡泉官衙遺跡を紹介します。

企画展講演会

演題 古代の役所と地域社会

講師 平川 南氏（国立歴史民俗博物館館長）

とき 平成23年1月30日（日）午後1時30分～

ところ 南相馬市博物館シアター ※聴講無料ですが整理券が必要です

当館学芸員による展示解説会

平成23年1月23日（日） ①10時30分 ②13時30分

博物館講座

平成22年12月18日（土）午後1時30分「陸奥国行方郡家の成立」

平成23年1月15日（土）午後1時30分「地方の役所と人々の暮らし」

主な遺跡・資料

*内藤政恒コレクション、竹島國基・佐藤二郎・佐藤助信収集資料、泉官衙遺跡、多賀城跡、郡山官衙遺跡、加賀郡勝示札（複製品）、県内郡家関連出土資料ほか、上野国交替実録帳（複製品）、『奥相志』『続日本紀』『延喜式』ほか文献資料

観覧料

区分	個人	団体
一般	400円	350円
高校生	200円	150円
小中学生	100円	80円

※団体料金は20名様以上

※市内（飯館村も含む）に居住・通学する小中高生は無料

※障がい者の方は無料（手帳をご提示ください）

奈良国立博物館考古資料相互活用促進事業

奈良国立博物館と全国の博物館との間で、それぞれ所蔵している考古資料を相互貸借し有効活用する事業。本企画展では、奈良国立博物館所蔵の古瓦コレクション「内藤政恒コレクション」を借用・展示します。なお当館からは、弥生時代の石匁丁や桜井式土器が貸出・展示されます。

シアターの映像・音響機器改修のお知らせ

当館シアターでは、南相馬市合併前の原町市紹介映画『すばらしき原町』を30分ごとに上映しておりますが、現在、それに替わる南相馬市版の映画を制作中で、年度内の完成に向けて準備をしております。

映画制作と関連し、1月12日～19日はシアターのスクリーン、映像・音響類の改修工事を行うことから、現在上映中の映画は展示ホールの大テレビでご覧いただくこととなり、ご来館の皆さま方にはご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

なお映画完成後には、200インチの大画面（現在は150インチ）、フルハイビジョンの映像、サラウンドの音響でご覧いただけます。



1月中、シアターの改修工事を行います。工事中は『すばらしき原町』がシアターでご覧いただけませんので、ご了承ください。

南相馬市博物館より

1月からの企画展「古代陸奥国・行方の郡家一国史跡泉官衙遺跡」の開催にあわせて、当館常設展示室ミニテーマコーナーと、市民情報交流センター交流広場において、泉官衙遺跡に関する展示をおこないます。

常設展示室 ミニテーマコーナー

横手廃寺跡・真野古城跡・植松廃寺跡

平成23年 1月4日 火 ～3月31日 木

泉官衙遺跡と同時代にあった、当時の役所関連の遺跡「廃寺跡」とは何か、どんな様子だったのか、市内の3つの遺跡から紹介します。



横手廃寺跡の瓦
県立相馬高等学校蔵



真野古城跡の瓦
県立相馬高等学校蔵



植松廃寺跡の瓦
県立相馬高等学校蔵

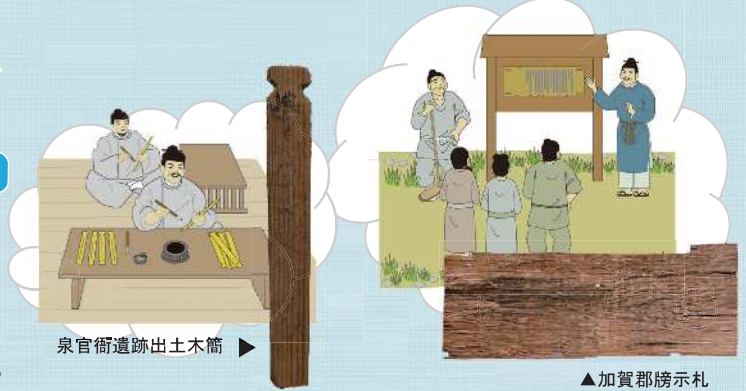
市民情報交流センター・交流広場

お寺? 役所? 泉官衙遺跡の謎

平成23年 1月12日 水 ～1月31日 月

泉官衙遺跡とはどんな遺跡で、当時の人たちはどのような暮らしをしていたのでしょうか? 「木簡」「^{もっかん}勝示札」って何だろう? 企画展とあわせてご覧ください。

※市民情報交流センター 原町区旭町二丁目 7-1 TEL0244-23-7796



▲加賀郡勝示札

冬の東ヶ丘公園で生きものさがし

冬をむかえ、博物館のまわりの雑木林は静かな季節をむかえました。寒い季節ですが、林の陽だまりでは越冬するチョウやテントウムシ類がみられ、ため池では冬鳥も観察できます。樹木の冬芽は様々な形をしていてユーモラスです。歩くと意外な発見がありますよ。



上よりキタテハ、オナガガモ、モミ



イベントのお知らせ!

自然観察会「東ヶ丘公園の生きもの探検！」

とき：平成23年2月20日（日）10：00～12：00



▲はく製やレプリカにもさわれるよ!

東ヶ丘公園の生き物観察会を行います。公園内に生息するタヌキや鳥、カエル類などはく製やレプリカ、標本に実際に触れるコーナーも設けます。ぜひご参加ください!

その他の詳しいことは、4ページ目の催し物案内でご確認ください。



「民具と語ろう ちよっと昔の鹿島の暮らし」を開催しました!

平成22年10月9日(土)、鹿島区出身の福島県立博物館専門員佐々木長生さんを講師に招き、平成22年度夏企画展「昔の道具と暮らし 鹿島の生活」の展示解説会を開催しました。佐々木さんは、民俗学とくに民具を専門に研究され、長年、県立博物館の学芸員として全国的に活躍されておられます。

今回の「民具と語ろう—ちよっと昔の鹿島の暮らし—」では、最初に講演会(於:南相馬市まごころセンター)を実施しました。内容は昭和30年代から40年代の高度成長期を迎え急激に変貌した鹿島について、小・中・高校生時代を過ごした“たけお少年”の目からみた「鹿島の暮らしの近代化」について語っていただきました。参加者の多くは同時代を過ごした方方で、思い出したり、共感したりしながら懐かしく聞いておられました。

つづいて、鹿島歴史民俗資料館の企画展会場で佐々木さんに民具についての解説をしていただきながら、参加者の方々にもそれぞれの使い方についてお話していただくなど、鹿島の民具について語りあう絶好の機会となりました。

当館では、今後も随時「民具と語ろう」を開催し、民具について多くの方々それぞれの思い出など語っていただき、「ちよっと昔の鹿島の暮らし」を子供たちに伝えていきたいと考えています。



▲企画展会場にて民具について語る佐々木さんと参加者の皆様
参加者数 26名

平成22年度冬企画展

あらむねしげ ほうとくしほう 荒至重と報徳仕法

平成22年 11月14日 日 ~ 23年 4月3日 日

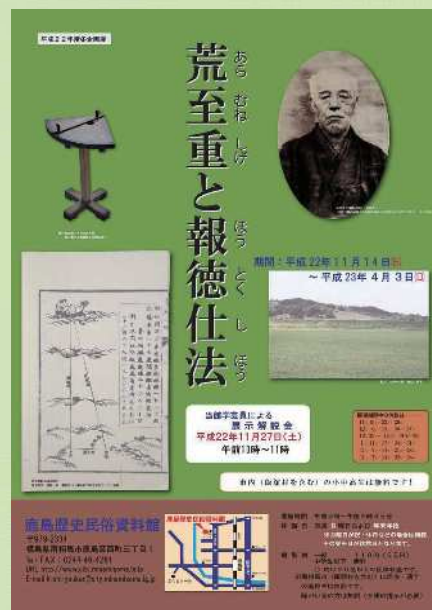
没後101年、郷土の偉人・荒至重について学ぼう

江戸幕末期、奥州中村藩では二宮尊徳の教えである報徳仕法を実施し、“天明のききん”以降、領内の荒廃した田畑の復興をはかりました。その際、水を確保することを目的に、多くのため池や用水路が改修、新築され、現在、わたしたちが灌漑用水として利用している唐神ため池、七千石用水をはじめ多くのため池や用水路は、そのときのものです。

藩士の子として生まれた荒至重は、江戸で算術や測量術を修得し、二宮尊徳から実践的な指導を受け、北郷(現在の鹿島区)代官や仕法掛、さらに測量師として、これらの事業の多くにたずさわり多大なる功績をあげました。当時の人々はこうした彼の功績に感謝し、逝去後「南右田神社」の祭神として祭られています。今回、至重と縁のある資料を展示し、彼の経歴と業績を紹介しています。

おもな展示資料

荒至重考案製作した測量器(地経象限儀・地緯象限儀・地平半円儀)、自著刊行『量地三略』板木(すべて南右田神社所蔵・市指定文化財)など



▲企画展ポスター



▲企画展のようす

南相馬市博物館の催し物

12月～3月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0 2 4 4 - 2 3 - 6 4 2 1

期 日	タイトル	詳 細
12月18日(土)	博物館講座 「陸奥国行方郡家の成立」	13:30～15:30 定員40名 講師 佐藤祐子学芸員 国史跡に指定された「泉官衙遺跡」は、古代「行方郡」の役所跡です。どのような時代背景のなかで成立したのかをわかり易く解説します。
12月23日(木) 天皇誕生日	体験学習 「正月飾り作り」	9:30～12:00 <募集終了> 講師 安藤安子氏 正月に玄関を飾る注連縄飾りを作り、年中行事の中でも特に重要な正月行事について学びます。 【材料費】300円
1月15日(土)	博物館講座 「地方の役所と人々の暮らし」	13:30～15:30 定員40名 講師 佐藤祐子学芸員 企画展「古代陸奥国・行方の郡家—国史跡泉官衙遺跡」にちなんで、奈良・平安時代の人々の暮らしを出土資料から紹介します。
1月16日(日)	体験学習 「拓本をとってみよう」	10:00～12:00 定員20名 講師 佐藤祐子学芸員 縄文土器や瓦などデコボコしたものは記録をとるのが大変です。土器や瓦に紙をあて模様を写しとってみます。自分でとった拓本は、お持ち帰りできます。 【持ち物】汚れてもいいタオル1枚
2月19日(土)	博物館講座 「生き物と共生する農業①」	13:30～15:30 定員40名 講師 稲葉修学芸員 地域の財産である景色や生き物を活用、保全しながら行われている各地の農業、生き物に配慮した水路工事などの事例を紹介します。
2月20日(日)	自然観察会 「東ヶ丘公園の生きもの探検！ -はく製や標本にもさわっちゃおう!!-」	10:00～12:00 定員20名 講師 稲葉修学芸員 博物館のまわりの「東ヶ丘公園」にはどんな動物や植物がいるの…？博物館で生き物のはく製や標本を触ってみよう！公園で生き物探しもします。 【持ち物】暖かい服装、暖かい飲み物、おやつ、生き物の図鑑がある人は持ってきてください。
3月19日(土)	博物館講座 「生き物と共生する農業②」	13:30～15:30 定員40名 講師 稲葉修学芸員 生き物ブランド米、それらを活用したお菓子や食料品、飲料について紹介します。また、大人気の「売れてる！」直売所についても紹介します。
1月9日・2月6日 3月6日	古文書解読講座	13:30～15:30 定員20名 【持ち物】原稿用紙・筆記用具 相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

考古学フキサロン

定員40名 講師 文化財課職員 いずれも13:30～15:00

期 日	内 容
2月5日(土)	徹底解明！国指定史跡・桜井古墳①
3月5日(土)	徹底解明！国指定史跡・桜井古墳②



▲国史跡桜井古墳を徹底解明します



▲生き物や景色を活かした農業って？
講座「生き物と共生する農業①②」



▲古代の人々の暮らしとは？
講座「地方の役所と人々の暮らし」



▲文字・文様を写し取る技法を学びましょう
体験学習「拓本をとってみよう」

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 電話：0244-23-6421 FAX：0244-24-6933
E-Mail：hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45 (最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日) ※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2442 鹿島区西町三丁目1 電話・FAX：0244-46-4281

E-Mail：k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日) ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料 ※市内に居住・通学の高校生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)